

【 まちの将来像5 】

都市活力がみなぎる便利で快適なまち

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-1	地域経済を支える産業をまもりそだてる
施策の方向性	本市の農林業は、都市近郊立地の特性をいかし、都市と農村の交流を基軸とした地産地消の取組や、適切な森林整備を促進するとともに、地域ぐるみでの営農や市民、企業等の新たな担い手を育成します。 また、商店街が便利で楽しみのある場所として、買い物客や地域住民で賑わい、市内企業が安定的に事業を継続し、成長を遂げるなど、活力あふれるまちづくりを進めていきます。	
取組 ★：重点プラン 該当取組	1	★ 農林業の振興
	2	★ 都市と農村の交流活動等による活性化
	3	★ 商業の活性化
	4	企業活動への支援
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-1-1		★ 農林業の振興										
1	事業名	◎ 新規農業者養成事業												
	目的 及び 概要	農業の担い手の高齢化や若者の農業離れ等により担い手が不足し、将来、農地の遊休化が進むと考えられ、今後、持続的な農業の推進には都市住民等に農業に興味を持ってもらう必要があることから、大阪府等と連携し、市民農園利用者をはじめ市民や学生を対象とした農業体験を実施し、農家への援農や新規就農に結びつける。また、一定の営農技術を取得しているものに対し、国の給付金を活用して、農業経営をサポートする。				H 28 年度	内 容	①農業体験ファームの実施 ②国の給付金を活用した支援の実施 ③人・農地プランの策定				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
						方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	3.5	うち市負担分 (百万円)	0.5	H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	農林課	会計区分	一般		事業区分		ソフト			
2	事業名	有害獣対策事業												
	目的 及び 概要	有害獣による農作物被害の防止を図るため、イノシシ・アライグマ等の捕獲活動の実施や有害獣防止柵・網の設置に対して助成を行い、農業経営の安定化と地域の活性化を図る。				H 28 年度	内 容	①有害獣防止柵設置に対する支援 ②捕獲活動に対する支援				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2.4	うち市負担分 (百万円)	2.4	H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	農林課	会計区分	一般		事業区分		ソフト			
3	事業名	環境保全型農業推進事業												
	目的 及び 概要	生産性・収益性の高い作物の奨励や栽培技術、営農指導を行い、エコ農産物の栽培や環境に配慮した環境保全型農業を推進することにより、市民に安心・安全な農産物を供給し、地産地消を推進する。				H 28 年度	内 容	①エコ農産物の栽培支援 ②有機性資源を活用した土づくりに対する支援 ③農業祭や広報誌等を活用し、生産・販売しているエコ農産物の情報発信				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.1	うち市負担分 (百万円)	1.1	H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	農林課	会計区分	一般		事業区分		ソフト			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名		林業振興事業										
	目的 及び 概要	公益的な機能を有する森林の健全な管理 育成と、都市と農村の交流の場として森林 空間の提供を行うほか、林業者団体が実施 する森林整備作業に対し支援を行う。 【関連取組:6-2-2 自然資源の利用の推 進】			H 28 年度	内 容	①林業者団体等が実施する森林整備事業への補 助金を交付 ②森林病虫害対策の実施 ③森林整備に必要な林道の維持経費					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
			方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	14.9	うち市負担分 (百万円)	12.4	H32 年度	継続			
担当課	部名	産業環境部		課名	農林課		会計区分		一般		事業区分	ソフト	

5	事業名		圃場整備地区内(下音羽地区)農道整備事業										
	目的 及び 概要	圃場整備された下音羽地区内の農道につ いては、経年劣化による舗装等の損傷が進 み、補修工事が必要となっている。また、見 山の郷周辺の農道には一般車両が増加し、 今後は道路法の下で認定道路として管 理をしていくことが望ましいため、損傷した 現道の補修及び認定道路として基準を満 たすための補完工事を実施する。			H 28 年度	内 容	①劣化した舗装等の改修					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H29 年度	完了
												H30 年度	-
												H31 年度	-
			方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	13.0	うち市負担分 (百万円)	13.0	H32 年度	-			
担当課	部名	産業環境部		課名	農林課		会計区分		一般		事業区分	ハード	

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-1-2		★ 都市と農村の交流活動等による活性化													
6	事業名		◎ 農業振興推進事業(農空間活用事業)														
	目的 及び 概要		直売活動や都市と農村の交流活動を活 化させるため、新たな特産品の栽培・販売 支援や農商連携を行い、地産地消の促進 を図る。	H 28 年 度	内 容	①れんげ米の栽培支援 ②新たな特産品の開発、販売の促進 ③農商連携によるアンテナショップの開設検討								事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
														H29 年度	継続		
														H30 年度	継続		
														H31 年度	継続		
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.8	うち市負担分 (百万円)	0.8	H32 年度	継続				
担当課	部名	産業環境部	課名	農林課		会計区分		一般		事業区分		ソフト					
7	事業名		ふれあい農園管理事業														
	目的 及び 概要		自然にふれあう機会と農業を体験する場を 提供するため、市民農園の管理運営を行う とともに、平成10年よりふれあい農園の管 理業務を市で実施しているが、平成25年 度に6箇所目の農園を開園し、業務量が 増大しており、事業費及び事務量の削減のた め、平成30年度より指定管理者制度による 運営を行う。	H 28 年 度	内 容	①講習会の開催 ②入園者の募集 ③日常の管理運営 ④指定管理者制度の検討								事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
														H29 年度	継続		
														H30 年度	継続		
														H31 年度	継続		
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.4	うち市負担分 (百万円)	1.4	H32 年度	継続				
担当課	部名	産業環境部	課名	農林課		会計区分		一般		事業区分		ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名		農業祭開催事業											
	目的 及び 概要	市内農林産物等を展示し、都市と農村の交流を図ることにより、農林業に対する市民の理解と認識を深めるとともに、農林業の健全な発展と農業・農村の活性化を図る。	H 28 年度	内 容	①農業祭開催のための負担金							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分 (百万円)	5.0	H32 年度	継続							
担当課	部名	産業環境部	課名	農林課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						

9	事業名		◎ 北辰中学校跡地活用事業											
	目的 及び 概要	都市住民や地域住民が交流出来る施設として整備を図り、あわせて販売や飲食などを通じて地場産品のPRや周辺農地を活用した体験農園を整備する。	H 28 年度	内 容	①事業の方向性の検討							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	継続							
担当課	部名	産業環境部	課名	農林課	会計区分	一般	事業区分	ハード						

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-1-3		★ 商業の活性化											
10	事業名 ◎ 産業振興アクションプラン推進事業														
目的 及び 概要	産業振興ビジョンに位置付けた「市内産業のあるべき姿」の実現のため、産業振興アクションプランの5つの重点施策を中心に一体的かつ継続的に取り組む。	H 28 年度	内 容	①改定したアクションプランの実現に向けた事業の構築・実施 ◆1人ひとりのチャレンジ(起業・創業)を応援する切れ目のない支援 ◆市内事業者の人材育成の支援 ◆連携を生み、育てるための仕組みの整備・強化 ◆産学連携に取り組みやすい環境づくり ②中小企業者を対象とした貿易など海外展開に必要な知識を得るための講座費用の一部助成やセミナーの実施を検討 ③中小企業者が行う、従業員等の人材育成事業に補助金を支給						事業の方向性の見込み (対前年度比)					
				H29年度		拡充									
				H30年度		拡充									
				H31年度		拡充									
				方向性 (対前年度比)		拡充		事業費 (百万円)		3.5		うち市負担分 (百万円)		3.5	
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		
11	事業名 商工業振興補助事業														
目的 及び 概要	市内の商業活性化を促進するため、商店街等が行う共同施設関連事業(施設・設備等の設置)、共同運営事業(活性化計画の策定、顧客利便施設の運営等)及び商店街が実施するイベントに係る経費の一部を補助する。	H 28 年度	内 容	①商店街等の共同施設関連事業及び共同運営事業に補助金を支給 ②商店街が実施するイベントに係る経費の一部を補助						事業の方向性の見込み (対前年度比)					
				H29年度		継続									
				H30年度		継続									
				H31年度		継続									
				方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		7.0		うち市負担分 (百万円)		7.0	
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	小売店舗改築(改装)補助事業												
目的 及び 概要		市内の商工業施設の活性化を促進するため、市民や法人が市内で所有又は賃借している小売店舗等(小売業、飲食店、理・美容業、療術業)の改築・改装工事に対して、対象経費の1/2(限度額50万円)を補助する。 また、商店街や中心市街地での小売業・飲食業への業種転換や新規出店を行う場合も改築・改装費用の一部を補助する。	H 28 年度	内 容	①市内で小売業、飲食業、理・美容業、療術業を営んでいる市民又は市内法人が、小売店舗の改築・改装する場合に補助金を支給 ②商店街や中心市街地での小売業・飲食業への業種転換や新規出店する事業者が、小売店舗の改築・改装を行う場合に補助金を支給								事業の方向性の見込み(対前年度比)	
													H29年度	継続
													H30年度	継続
													H31年度	継続
													H32年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
13	事業名	産業活性化プロジェクト促進事業												
目的 及び 概要		市内産業の活性化につながる民間の主体的な取組を促進するため、市内事業者等が共同で実施する、企業や商品のPR事業、新製品開発を行う事業に対し、提案公募型公益活動支援事業として、申請者からの事業提案に基づき、経費の一部を補助する。	H 28 年度	内 容	①市内事業者等が共同で実施する商品のPR事業、新製品開発事業に補助金を支給								事業の方向性の見込み(対前年度比)	
													H29年度	継続
													H30年度	継続
													H31年度	継続
													H32年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-1-4		企業活動への支援											
14	事業名		企業立地支援事業												
	目的 及び 概要	既存企業の市内での事業継続に資するため、企業訪問を通じて、企業が求める行政情報を把握・提供するとともに、企業支援のワンストップ窓口を設けるなど企業活動を支援している。			H 28 年度	内 容	①企業訪問活動 ②企業が活用できる支援事業等の周知 ③広報誌による市内企業の紹介 ④企業からの相談のワンストップ化						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト							
15	事業名		企業立地促進奨励金事業												
	目的 及び 概要	企業の立地や設備投資を促進することにより、地域経済の活性化を図るため、企業等が新たに取得した土地・建物・設備に課される固定資産税・都市計画税額相当額の2分の1を、奨励金として交付する。 【関連取組:5-2-3 特区制度などを活用した企業立地】			H 28 年度	内 容	①償却資産の対象等制度の見直しを検討 ②本社機能移転とそれに伴う雇用増に対する支援策を検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	拡充	
													H31 年度	継続	
													方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト							

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	事業名	茨木市商工会議所事業補助										
	目的 及び 概要	市内の新産業の創出・育成並びに既存産業の成長・発展を促進するため、茨木商工会議所が行う市内産業の総合的発展に資する事業に対して補助金を交付する。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】	H 28 年度	内 容	①茨木商工会議所が行う、地域産業活性化事業及び中小企業相談所事業に補助金を交付						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
											H29 年度	継続
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	14.0	うち市負担分 (百万円)	14.0	H32 年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
17	事業名	経営相談・指導事業										
	目的 及び 概要	市内の商店や企業の発展、創業希望者の開業を支援するため、経営アドバイザー(中小企業診断士)とともに、事業者への助言、指導等を行う。	H 28 年度	内 容	①経営アドバイザーによる創業希望者の開業支援(助言・指導等) ②経営アドバイザーによる商工業者、大学生をはじめとした若者等の経営相談 ③事業所・商店街等への巡回						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
											H29 年度	継続
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	4.2	うち市負担分 (百万円)	4.2	H32 年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
18	事業名	融資関連補助事業										
	目的 及び 概要	中小企業者の融資に係る負担の軽減を図り、中小企業の健全な発展と経営の安定を促進することで市内商工業の振興に資する。	H 28 年度	内 容	①信用保証料補助 ②特定創業支援計画に係る支援を受け、市の証明書の交付を受けた創業者に対し、利子補給を行う。 (平成31年度に事業の効果等について精査し、平成32年度以降の事業の方向性について検討する。)						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
											H29 年度	継続
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	7.3	うち市負担分 (百万円)	7.3	H32 年度	縮小
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
19	事業名	産業情報サイト運営事業										
	目的 及び 概要	商工業を中心とした市内企業の情報化を促進し、消費者の利便性の向上を図るため、産業情報サイトを整備し、サイト内において市内の商店や企業の業務内容や営業案内等を掲載して広く消費者等に情報発信を行う。	H 28 年度	内 容	①サイトの運営 ②サイトの保守管理						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
											H29 年度	継続
											H30 年度	継続
											H31 年度	拡充
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.4	うち市負担分 (百万円)	0.4	H32 年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

20	事業名		中小企業融資対策事業												
目的 及び 概要		中小企業者の経営安定を図るため、大阪信用保証協会の100%保証による、茨木市中小企業振興資金融資と大阪府中小企業融資を斡旋している。また、セーフティネットに伴う市町村認定も行っている。	H 28 年度	内 容	①茨木市中小企業振興資金融資及び大阪府中小企業融資の斡旋 ②セーフティネットに伴う市町村認定							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
												H29 年度	継続		
												H30 年度	継続		
												H31 年度	継続		
												H32 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0					
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-2	時代の変化を見通した新しい産業をつくり、そだてる
施策の方向性	特区制度や企業立地促進奨励金などの企業支援施策を活用し、バイオ・ライフサイエンス分野など成長産業の集積や幹線道路沿道等での物流施設など本市の地域特性をいかした企業立地を進めます。また、多様なビジネスの創出とともに、育成された人材がいきいきと活躍することで、活力がみなぎるまちづくりを進めていきます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成
	2	★ 幹線道路沿道での企業立地誘導
	3	★ 特区制度などを活用した企業立地
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組														5-2-1 ★ 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成																	
1 事業名 ◎ 創業促進補助事業																															
目的 及び 概要				本市における創業を促進するため、新たに 営利を目的として創業する者に対して、テ ナント料(6か月又は12か月分)及び改裝工 事費の1/2(ともに限度額50万円)を補助す る。 また、中小企業経営アドバイザーとともに、 事業計画の作成に関する指導等を行い、 開業後の巡回訪問により状況把握に努め る。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・ 駅周辺の整備】										H 28 年 度		内 容		①市内で新たに営利を目的として創業する者に対 して補助金を支給(大学生も対象とする・要綱改 正)										事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
																												H29 年度		継続	
																												H30 年度		継続	
																												H31 年度		継続	
																												H32 年度		継続	
担当課				部名		産業環境部				課名		商工労政課				会計区分		一般				事業区分		ソフト							
2 事業名 ◎ 産学連携スタートアップ支援事業																															
目的 及び 概要				市内中小企業者等の優れた技術の掘り起 こし、及びその実用化に向けた取組を促進 することにより、本市の経済成長及びイノ ベーション創出に寄与することを目的とする ため、大学の保有する研究成果・技術をも とにした、産学連携の研究開発事業等に対 して、その費用の一部を補助する。										H 28 年 度		内 容		①中小企業者の具体的な新技術や新製品または 新サービスの研究開発、技術革新などに関し、市 内大学等と行う連携事業にかかる経費の一部を補 助 ②市内大学以外の大学との連携事業も対象とする (市内大学とそれ以外の大学との連携それぞれに 異なる助成上限額を設定) ③企業と大学との連携機会を創出するため産学連 携交流サロン事業を実施										事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
																												H29 年度		継続	
																												H30 年度		継続	
																												H31 年度		継続	
																												H32 年度		継続	
担当課				部名		産業環境部				課名		商工労政課				会計区分		一般				事業区分		ソフト							
3 事業名 ◎ バイオインキュベーション施設集積促進補助事業																															
目的 及び 概要				バイオインキュベーション施設の集積促進 を図り、本市産業の振興に資するため、バ イオインキュベーション施設の運営者が行う バイオインキュベーション施設集積促進事 業を支援する。										H 28 年 度		内 容		①バイオインキュベーション施設集積促進事業に 要する経費のうち、施設賃借経費、人件費及び管 理経費の一部を助成										事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
																												H29 年度		継続	
																												H30 年度		継続	
																												H31 年度		継続	
																												H32 年度		継続	
担当課				部名		産業環境部				課名		商工労政課				会計区分		一般				事業区分		ソフト							

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名 ◎ バイオインキュベーション施設賃料補助事業												
目的 及び 概要		バイオベンチャー企業の集積を図り、本市産業の振興に資するため、彩都ライフサイエンスパーク内の施設(彩都バイオインキュベータ、大阪府認定施設、彩都バイオインキュベーションセンター)に入居し、ライフサイエンス分野の研究開発を行うバイオベンチャー企業に、施設の賃料の一部を補助する。	H 28 年度	内 容	①バイオインキュベーション施設に入居するバイオベンチャー企業に対して、施設の賃料の一部を補助						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-2-2		★ 幹線道路沿道での企業立地誘導										
5	事業名	◎ 幹線道路沿道土地利用事業												
	目的 及び 概要	広域幹線道路沿道の市街化調整区域において、地権者等とともに地区の土地利用構想及び土地利用計画の検討を進め、幹線沿道にふさわしい土地利用を進める。 ※組合施行の土地区画整理事業に対する補助額については、現時点では未定。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 28 年度	内 容	【玉島地区】 ①地区別事業化支援 ②農業振興地域整備計画(案)の作成(農林課) ③関係機関協議 【目垣地区】 ①土地区画整理準備組合設立支援 ②農業振興地域整備計画(案)の作成(農林課) ③関係機関協議				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-2-3		★ 特区制度などを活用した企業立地										
6	事業名	◎ 成長特区税制における事業計画認定等事務事業												
	目的 及び 概要	地域経済の活性化及び持続的な発展に繋がる成長企業の誘致を図るため、市内の成長産業特区指定区域において、ライフサイエンス分野や新エネルギー分野などの事業を実施する企業の事業計画を認定し、当該企業の法人市民税や固定資産税の軽減を行う。				H 28 年度	内 容	①成長産業特区における市税の軽減の対象となる事業計画の認定及び変更認定 ②大阪府が平成27年度3月議会で特区税制の区域や対象事業等の追加や認定期間を平成32年度まで延長する条例改正を実施したことから、府と連携した制度である本市特区税制においても府との整合性を図る条例改正を実施					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H29 年度	継続
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		
7	事業名	◎ 【再掲】企業立地促進奨励金事業												
	目的 及び 概要	企業の立地や設備投資を促進することにより、地域経済の活性化を図るため、企業等が新たに取得した土地・建物・設備に課される固定資産税・都市計画税額相当額の2分の1を、奨励金として交付する。 【関連取組:5-1-4 企業活動への支援】				H 28 年度	内 容	①償却資産の対象等制度の見直しを検討 ②本社機能移転とそれに伴う雇用増に対する支援策を検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(363.4)	うち市負担分 (百万円)	(363.4)	H29 年度	継続
												H30 年度	拡充	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-3	就労支援と働きやすい職場づくりをすすめる
施策の方向性	働く意欲はあるが就労にあたり困難な要因を抱える人(就職困難者)や不安定な就労を余儀なくされている人の能力と希望に応じた就労を支援する施策に取り組みます。また、市内の事業所において、働く人々が安心して、いきいきと働くことができる職場づくりを促進する施策に取り組みます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 就労の支援
	2	★ 働きやすい職場づくりの推進
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-3-1	★ 就労の支援
1	事業名	◎ 就職サポート事業
	目的及び概要	就労支援などを行う関係機関と連携し、就職困難者等の職業的自立を目指すため、就職相談、講習会・セミナーの実施や職業訓練校等への誘導、合同就職面接会の開催など就職に向けた支援を行う。 H28年度 内容 ①就職や労働問題に対する仕事なんでも相談 ②就職困難者の職業能力を開発する講座開催や講座受講費用の補助 ③求職者と地元企業をつなぐ企業説明会・見学会や、直接就職に結びつく合同就職面接会の開催 ④就労を体験する事業の実施 ⑤子育て世代(女性)を対象とする事業に新メニュー追加 事業の方向性の見込み(対前年度比) H29年度 臨時拡充 H30年度 臨時拡充 H31年度 継続 H32年度 継続
	方向性(対前年度比)	臨時拡充
	事業費(百万円)	10.0
	うち市負担分(百万円)	6.4
担当課	部名	産業環境部
	課名	商工労政課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト
2	事業名	雇用促進奨励金事業
	目的及び概要	市民の安定就労に資するため、市民を雇用した市内事業所に対し奨励金を交付する。 H28年度 内容 ①失業中の市民を正規雇用、又は非正規労働者を正規労働者に転換した市内中小企業者に対し奨励金を交付(平成29年度に事業の効果等について精査し、平成30年度以降の事業の方向性について検討する。) 事業の方向性の見込み(対前年度比) H29年度 継続 H30年度 廃止 H31年度 - H32年度 -
	方向性(対前年度比)	継続
	事業費(百万円)	10.0
	うち市負担分(百万円)	10.0
担当課	部名	産業環境部
	課名	商工労政課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト
3	事業名	障害者雇用奨励金事業
	目的及び概要	障害者雇用を促進し、障害者の自立の助長と福祉の増進を図るため、障害のある市民を雇用する事業主に対して、奨励金を支給する。 H28年度 内容 ①障害のある市民を雇用し、国の特別求職者雇用開発助成金を受給する事業主に対して、奨励金を支給 事業の方向性の見込み(対前年度比) H29年度 継続 H30年度 継続 H31年度 継続 H32年度 継続
	方向性(対前年度比)	継続
	事業費(百万円)	3.9
	うち市負担分(百万円)	3.9
担当課	部名	産業環境部
	課名	商工労政課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		5-3-2		★ 働きやすい職場づくりの推進													
4	事業名		雇用・労働関係セミナー及び労働に関する啓発事業														
	目的 及び 概要	健全な雇用関係の確立及び働きやすい職場環境の実現を図るため、セミナーを開催するとともに、公正な採用選考、障害者・高齢者雇用促進などの啓発活動を実施している。				H 28 年 度	内 容	①労働法制等の理解を深め、労働関係の安定を図るセミナーの開催 ②障害者等の雇用促進や働きやすい職場づくりのための啓発活動						事業の方向性の見込み (対前年度比)			
														H29 年度	臨時 拡充		
														H30 年度	継続		
														H31 年度	継続		
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.6	うち市負担分 (百万円)	0.6	H32 年度	継続				
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分	ソフト					
5	事業名		茨木市勤労者互助会補助事業														
	目的 及び 概要	パートタイマーを含む従業員の福祉の増進、および事業所における雇用の安定を図るため、勤労者互助会が行う勤労者福祉増進のための事業に対し補助金を支給する。				H 28 年 度	内 容	①勤労者互助会が行う勤労者福祉増進のための事業に対し補助金を支給						事業の方向性の見込み (対前年度比)			
														H29 年度	継続		
														H30 年度	継続		
														H31 年度	継続		
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分 (百万円)	5.0	H32 年度	継続				
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分	ソフト					
6	事業名		勤労者スキルアップ支援等セミナー														
	目的 及び 概要	勤労者の能力向上や勤労者福祉の増進を図るため、勤労者の知識・技能の向上、中小企業の人材育成につながるセミナーや、働きやすい職場づくりを支援するセミナーを開催している。				H 28 年 度	内 容	①勤労者の知識・技能の向上、中小企業の人材育成につながるセミナーの開催 ②働きやすい職場づくりを支援するセミナーの開催						事業の方向性の見込み (対前年度比)			
														H29 年度	継続		
														H30 年度	継続		
														H31 年度	継続		
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.9	うち市負担分 (百万円)	0.9	H32 年度	継続				
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分	ソフト					

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-4	地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめる
施策の方向性	広域的な都市基盤施設の充実を図るとともに、計画的な市街地整備や地域特性をいかした土地利用の誘導を図り、強み(ポテンシャル)をいかした整備を推進します。また、住、働、学、憩という都市において行われる機能を備えた都市づくりを進め、活力と魅力の増進に取り組みます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	計画的な都市基盤整備や市街地整備
	2	★ 彩都の都市づくり
	3	適切な開発や建築物・土地利用の誘導
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-4-1		計画的な都市基盤整備や市街地整備										
1	事業名	【再掲】都市計画決定等事務事業												
	目的 及び 概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定・変更を行う。 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組:5-7-4 都市計画施設の見直し】	H 28 年度	内 容	①都市計画決定等							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					H29 年度		継続		H30 年度		継続			
					H31 年度		継続		H32 年度		継続			
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(1.6)	うち市負担分 (百万円)	(1.6)	H32 年度		継続
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
2	事業名	【再掲】幹線道路沿道土地利用事業												
	目的 及び 概要	広域幹線道路沿道の市街化調整区域において、地権者等とともに地区の土地利用構想及び土地利用計画の検討を進め、幹線沿道にふさわしい土地利用を進める。 ※組合施行の土地区画整理事業に対する補助額については、現時点では未定。 【関連取組:5-2-2 幹線道路沿道での企業立地誘導】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 28 年度	内 容	【玉島地区】 ①地区別事業化支援 ②農業振興地域整備計画(案)の作成(農林課) ③関係機関協議 【目垣地区】 ①土地区画整理準備組合設立支援 ②農業振興地域整備計画(案)の作成(農林課) ③関係機関協議							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					H29 年度		継続		H30 年度		継続			
					H31 年度		継続		H32 年度		継続			
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H32 年度		継続
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
3	事業名	【再掲】茨木市中心市街地活性化事業												
	目的 及び 概要	本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置についても踏まえたものとする。 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 28 年度	内 容	①実施事業の精査、内閣府との協議・調整、基本計画案の作成							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					H29 年度		完了		H30 年度		-			
					H31 年度		-		H32 年度		-			
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(5.6)	うち市負担分 (百万円)	(5.6)	H32 年度		-
担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	【再掲】立地適正化計画策定事業										
目的 及び 概要	都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】	H28年度	内 容	①都市機能誘導区域の指定 ②暫定立地適正化計画の策定							事業の方向性の見込み (対前年度比)	
											H29年度	継続
											H30年度	継続
											H31年度	継続
				方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(9)	うち市負担分 (百万円)	(7.4)	H32年度	継続	
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-4-2		★ 彩都の都市づくり										
5	事業名 ◎ 彩都建設推進事業													
	目的 及び 概要	大阪の活性化・発展に向けて、大阪府、茨木・箕面市、都市再生機構、民間事業者、経済団体、大学、研究機関、公益団体などの産学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。			H 28 年 度	内 容	①(中部地区)市に換地される土地への企業等の誘致の実施 ②(東部地区)先行エリアの事業推進 ③(東部地区)残りのエリアの事業化に向けた取り組み						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H29 年 度	継続
													H30 年 度	継続
													H31 年 度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2.2	うち市負担分 (百万円)	2.2	H32 年 度	継続							
担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
6	事業名 ◎ 【再掲】山麓線整備事業													
	目的 及び 概要	市域山麓部の東西交通と彩都アクセスの円滑化を図るため、彩都や安威川ダムの事業進捗に合わせ、府道茨木亀岡線から彩都東部地区、中部地区、西部地区へと至る道路の整備を行う。 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】			H 28 年 度	内 容	①委託 C= 20.0百万円 ②工事 C=191.9百万円 ③用地 C= 18.4百万円 ④補償 C= 1.0百万円 ⑤負担金(UR・府) C= 0.0百万円						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H29 年 度	継続
													H30 年 度	継続
													H31 年 度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(231.3)	うち市負担分 (百万円)	(198.5)	H32 年 度	継続							
担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分		一般		事業区分		ハード	
7	事業名 谷山水路整備事業													
	目的 及び 概要	彩都東部地区の一部エリアの事業化に伴って実施する地区外水路整備事業			H 28 年 度	内 容	①水路整備工事 ②管理道路用地購入 ③公共嘱託登記						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H29 年 度	継続
													H30 年 度	完了
													H31 年 度	-
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	54.8	うち市負担分 (百万円)	54.8	H32 年 度	-							
担当課	部名	建設部		課名	下水道施設課		会計区分		一般		事業区分		ハード	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		5-4-3		適切な開発や建築物・土地利用の誘導											
8	事業名		都市計画決定等事務事業												
	目的 及び 概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定等を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-7-4 都市計画施設の見直し】			H 28 年 度	内 容	①都市計画決定等						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.6	うち市負担分 (百万円)	1.6	H32 年度	継続								
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		
9	事業名		細街路等整備事業												
	目的 及び 概要	開発許可、道路位置指定、建築行為等に対し、細街路計画に沿う指導を行い、基準に基づき用地費、工事費等の助成を行い整備を進め、良好な住環境を創出する。 【関連取組:5-5-1 快適で良好な住環境の形成】			H 28 年 度	内 容	①用地購入費 ②整備補助金 ③公嘱						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H29 年度	継続	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	127.4	うち市負担分 (百万円)	127.4	H32 年度	継続								
担当課	部名	都市整備部		課名	審査指導課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施 策	5-5	良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる
施策の方向性	市民、事業者等による開発や施設の管理が良好な環境を形成することを基本に、住みよいまちを創るため、計画の共有、ルール の作成、適正な運用と適時適切な見直し、住民への支援などを行い、快適な住環境や美しい街並みが魅力的で将来にわたり住 み続けたいまちをめざします。 また、緑地の適正な保全と緑化を推進し、自然とのふれあいやみどりをいかにしたるおいのある環境づくりをめざします。	
★:重点プラン 該当取組	1	快適で良好な住環境の形成
	2	都市におけるみどりの形成
	3	★ 良好な景観の保全と創造
	4	良好な住宅ストックの形成
	5	公的住宅の改善・充実
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-5-1		快適で良好な住環境の形成												
1	事業名 【再掲】細街路等整備事業															
目的 及び 概要		開発許可、道路位置指定、建築行為等に対し、細街路計画に沿う指導を行い、基準に基づき用地費、工事費等の助成を行い整備を進め、良好な住環境を創出する。 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】				H 28 年度		内 容		①用地購入費 ②整備補助金 ③公嘱					事業の方向性の見込み (対前年度比)	
															H29年度	継続
															H30年度	継続
															H31年度	継続
															H32年度	継続
						方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(127.4)	うち市負担分 (百万円)	(127.4)	H32年度	継続		
担当課	部名	都市整備部		課名	審査指導課			会計区分		一般		事業区分	ソフト			

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-5-2		都市におけるみどりの形成										
2	事業名	【再掲】緑の基本計画推進事業												
	目的 及び 概要	緑の将来像の実現に向けて、緑地の適正な 保全及び緑化の推進に関する目標や取り 組み方針、施策等を定め、総合的かつ計画的 に実施する。 【関連取組:6-2-1 都市とみどりの共存】				H 28 年度	内 容	①緑の相談事業 18万円 ②情報発信ツールの作成					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													方向性 (対前年度比)	拡充
	担当課	部名	建設部		課名	公園緑地課		会計区分		一般		事業区分	ソフト	
3	事業名	公園等再整備事業												
	目的 及び 概要	整備後、相当年数が経過している公園につ いて、公園施設長寿命化計画に基づき、順 次、住民ニーズや地域の実情に即した再整 備を実施していく。				H 28 年度	内 容	①公園再整備等 3箇所(水尾公園、西河原公園、 東駅前公園) ②地元調整 ③実施設計					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													方向性 (対前年度比)	継続
	担当課	部名	建設部		課名	公園緑地課		会計区分		一般		事業区分	ハード	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	若園公園バラ園再整備事業											
	目的 及び 概要	若園公園バラ園において、バラ苗木の老化による樹勢の衰えが顕著となっているため、苗木の更新及び植栽基盤の整備と併せ地下透水管等の施設の再整備を実施する。	H 28 年度	内 容	①苗木更新、植栽基盤整備 650万円 ②測量・設計 300万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
H31 年度											継続		
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	9.5	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	廃止		
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般		事業区分	ハード				
5	事業名	公園整備事業											
	目的 及び 概要	当該公園の所在する付近住民及び各施設利用者が、身近で安全な空間と快適な環境を確保できるよう、地域の公園利用の実態により、公園の整備や改良を行う。	H 28 年度	内 容	①元茨木川緑地再整備基本方針庁内検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
H31 年度											継続		
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	継続		
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般		事業区分	ハード				
6	事業名	公園施設長寿命化対策事業											
	目的 及び 概要	公園等の施設の長寿命化を図る。 (長寿命化のための公園施設データの収集・整理・保管・更新のためのシステム構築など。)	H 28 年度	内 容	①保守管理 40万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
H31 年度											継続		
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.4	うち市負担分 (百万円)	0.4	H32 年度	継続		
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
7	事業名	岩倉公園防災公園街区整備事業											
	目的 及び 概要	独立行政法人都市再生機構(UR)による防災公園街区整備事業の活用により、当該地域の防災機能の強化をはかるとともに、都市景観の向上や市民の憩いの場としての総合的な公園機能の充実を図るため、URが工場跡地の一部を取得し、防災公園と市街地整備を行ったもので、URより用地の買戻を行う。	H 28 年度	内 容	①岩倉公園整備(URより買戻)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
H31 年度											継続		
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	234.0	うち市負担分 (百万円)	234.0	H32 年度	継続		
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名		さくらまつり実施事業											
	目的 及び 概要	身近な自然に親しむ場や交流、レクリエーションの場を提供することで、豊かな環境を啓発するとともに、市民の連帯感やふるさと意識の充実を高め、まちの活性化を図る。観光の視点で観光部局と協力して事業展開を図ることで、より魅力ある催しとし、市の魅力を発信する事業とする。	H 28 年度	内 容	①新たな事業展開に向けて観光部局等と方針を検討							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	14.8	うち市負担分 (百万円)	14.8	H32 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-5-3		★ 良好な景観の保全と創造													
9	事業名		屋外広告物指導事業														
	目的 及び 概要	屋外広告物は、景観形成に対する影響が大きいことから適切な誘導が重要であり、茨木市景観計画、景観条例と整合を図りながら、建築物等と一体となった景観誘導を進めるため、現在改正が進められている府条例の内容を踏まえ、本市独自の屋外広告物条例を制定し、良好な景観形成を図る。	H 28 年度	内 容	①市条例の検討								事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
							H29 年度		継続								
							H30 年度		継続								
							H31 年度		継続								
		方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		0.0		うち市負担分 (百万円)		0.0		H32 年度		継続	
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課			会計区分		一般		事業区分		ソフト			
10	事業名		景観重要建造物等指定事業														
	目的 及び 概要	本市の良好な景観形成を推進するため、景観上重要な建造物、樹木、公共施設を指定する。	H 28 年度	内 容	①景観上保全が必要な対象物があれば指定								事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
							H29 年度		継続								
							H30 年度		継続								
							H31 年度		継続								
		方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		0.1		うち市負担分 (百万円)		0.1		H32 年度		継続	
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課			会計区分		一般		事業区分		ソフト			
11	事業名		景観賞表彰及び記念講演事業														
	目的 及び 概要	本市の良好な景観形成に関する市民意識の高揚を図るため、建築物やまちなみ及び市民等による活動等に対する表彰と記念講演を概ね5年毎に実施する。(次回、H30年度実施予定)	H 28 年度	内 容	次回の景観賞表彰候補となる建築物やまちなみの確認(H30年度実施予定)								事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
							H29 年度		-								
							H30 年度		継続								
							H31 年度		継続								
		方向性 (対前年度比)		-		事業費 (百万円)		-		うち市負担分 (百万円)		-		H32 年度		継続	
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課			会計区分		一般		事業区分		ソフト			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-5-4		良好な住宅ストックの形成										
12	事業名	居住マスタープラン策定事業												
	目的 及び 概要		人口減少、少子・高齢化等に伴う社会状況の変化や活力低下、また、建築物の老朽化等による災害リスク増加などの課題に対応するため、市民生活の基盤である住宅や住環境の維持・充実と定住促進を図る計画として、本市の住宅政策の方針と施策を示し、市民の暮らしの充実と安定した住生活の実現を目指す。	H 28 年度	内 容	立地適正化計画及び(仮称)空家等対策計画の策定を踏まえ、居住マスタープラン策定について検討する。							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	継続							
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
13	事業名	【再掲】既存民間建築物耐震化補助事業												
	目的 及び 概要		地震災害から市民の生命及び財産を守るため、民間の住宅・特定建築物の耐震診断費用及び住宅、共同住宅の耐震改修費用の一部を補助する。 耐震診断と診断結果の報告が義務化となる、市が指定する緊急交通路沿道建築物に対し耐震診断の補助を行う。 【4-1-3:建築物の耐震化の促進】	H 28 年度	内 容	①木造住宅・共同住宅の耐震診断・改修補助を行う。 ②非木造住宅・特定建築物耐震診断補助を行う。							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(45.7)	うち市負担分 (百万円)	(21)	H32 年度	継続							
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-5-5		公的住宅の改善・充実										
14	事業名	市営住宅長寿命化計画推進事業												
	目的 及び 概要	市営住宅を安全で安心な住まいとして長期間にわたって確保するため、耐震改修や長寿命化改善など適切な維持管理を実施することにより、効率的・効果的な活用に努める。	H 28 年度	内 容	①二次の耐震診断の結果に基づき、平成29年度に耐震改修工事を行う棟の耐震設計を実施 ②平成27年度に耐震設計を行った棟の耐震改修、外壁改修、屋上防止工事等を実施							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	完了	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	307.6	うち市負担分 (百万円)	188.4	H32 年度	完了							
担当課	部名	建設部	課名	建築課	会計区分	一般		事業区分	ハード					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施 策	5-6	時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくりをすすめる
施策の方向性	将来にわたって住み続けたい、さらに活力ある都市として成長・発展させていくという視点から都市構造を捉え、生活を支える都市機能を維持・向上させるとともに、中心部における魅力ある地域、拠点への再生、北部地域をはじめとする豊かな文化、自然資源等をいかし効果を高める取組などにより、これからの時代を先導する活力あるまちづくりを進めます。	
★：重点プラン該当取組	1	★ 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)
	2	★ 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備
	3	(仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり
	4	★ 北部地域の魅力向上
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組	5-6-1	★ 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)
1	事業名	立地適正化計画策定事業
	目的及び概要	都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組：5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組：5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】
	H28年度	内容 ①都市機能誘導区域の指定 ②暫定立地適正化計画の策定
	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H29年度 継続 H30年度 継続 H31年度 継続 H32年度 継続
	方向性(対前年度比)	拡充 事業費(百万円) 9.0 うち市負担分(百万円) 7.4
担当課	部名	都市整備部
	課名	都市政策課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト
2	事業名	【再掲】茨木市中心市街地活性化事業
	目的及び概要	本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置についても踏まえたものとする。 【関連取組：5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組：5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組：5-9-1 民間との連携、活力の活用】
	H28年度	内容 ①実施事業の精査、内閣府との協議・調整、基本計画案の作成
	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H29年度 完了 H30年度 - H31年度 - H32年度 -
	方向性(対前年度比)	継続 事業費(百万円) (5.6) うち市負担分(百万円) (5.6)
担当課	部名	都市整備部
	課名	市街地新生課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組	5-6-2	★ 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備
3	事業名	◎ 茨木市中心市街地活性化事業
	目的及び概要	本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置についても踏まえたものとする。 【関連取組：5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組：5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)】 【関連取組：5-9-1 民間との連携、活力の活用】
	H28年度	内容 ①実施事業の精査、内閣府との協議・調整、基本計画案の作成
	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H29年度 完了 H30年度 - H31年度 - H32年度 -
	方向性(対前年度比)	継続 事業費(百万円) 5.6 うち市負担分(百万円) 5.6
担当課	部名	都市整備部
	課名	市街地新生課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	◎ JR茨木駅構内エスカレーター整備事業													
	目的 及び 概要	JR茨木駅利用者の利便性向上ならびに本市の玄関口としてのイメージアップやにぎわい創出を図るため、駅構内におけるエスカレーター設置等を行うとともに、本事業により暫定整備となっている東口駅前広場上部デッキ底部分ならびに駅前広場の交差点整備を行う。 【関連取組:5-9-1民間との連携、活力の活用】				H 28 年度	内 容	①駅構内エスカレーター整備負担金					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	185.7	うち市負担分 (百万円)	92.9	H29 年度	継続
													H30 年度	完了	
													H31 年度	-	
													H32 年度	-	
	担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分		一般		事業区分	ハード		
5	事業名	◎ 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備事業													
	目的 及び 概要	市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。				H 28 年度	内 容	①基本計画検討、駅前広場等配置計画案の検討、西口周辺道路・交差点基本計画案の検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分		一般		事業区分	ハード		
6	事業名	◎ JR茨木駅西口駅前周辺整備事業													
	目的 及び 概要	市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。				H 28 年度	内 容	①都市機能導入等に関する庁内調整、関係機関との協議・調整					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分		一般		事業区分	ハード		
7	事業名	【再掲】創業促進補助事業													
	目的 及び 概要	本市における創業を促進するため、新たに営利を目的として創業する者に対して、テナント料(6か月又は12か月分)及び改装工事費の1/2(ともに限度額50万円)を補助する。また、中小企業経営アドバイザーとともに、事業計画の作成に関する指導等を行い、開業後の巡回訪問により状況把握に努める。 【関連取組:5-2-1 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成】				H 28 年度	内 容	①市内で新たに営利を目的として創業する者に対して補助金を支給(大学生も対象とする・要綱改正)					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(9.4)	うち市負担分 (百万円)	(9.4)	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名	【再掲】茨木市商工会議所事業補助											
	目的 及び 概要	市内の新産業の創出・育成並びに既存産業の成長・発展を促進するため、茨木商工会議所が行う市内産業の総合的発展に資する事業に対して補助金を交付する。 【関連取組:5-1-4 企業活動への支援】	H 28 年度	内 容	①茨木商工会議所が行う、地域産業活性化事業及び中小企業相談所事業に補助金を交付						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(14)	うち市負担分 (百万円)	(14)	H32 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

9	事業名	【再掲】立地適正化計画策定事業											
	目的 及び 概要	都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】	H 28 年度	内 容	①都市機能誘導区域の指定 ②暫定立地適正化計画の策定						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(9)	うち市負担分 (百万円)	(7.4)	H32 年度	継続	
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-6-3		(仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり											
10	事業名		(仮称)JR総持寺駅整備事業												
	目的 及び 概要	平成30年春、JR京都線摂津富田・茨木間に 新駅設置と周辺整備を行うことで、交通利 便性の向上と都市機能の充実・強化を図 る。	H 28 年 度	内 容	①(仮称)JR総持寺駅の設置及び自由通路整備に 要する工事関係負担金							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
												H29 年度	継続		
												H30 年度	完了		
												H31 年度	-		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	199.2	うち市負担分 (百万円)	99.6	H32 年度	-			
担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分	ハード						

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-6-4		★ 北部地域の魅力向上											
11	事業名 ◎ 北部魅力アップ事業														
	目的 及び 概要	本市北部地域の緑豊かな自然環境や歴史環境、安威川ダム、新名神高速道路、彩都のプロジェクトなどの資源をつなぐとともに、地域課題や地域のあり方も踏まえ、北部地域の魅力向上を図るための検討と取組を進める。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 28 年度	内 容	①魅力向上事業 まちづくり検討調査(既存資源の魅力向上、新たな資源も含めた連携検討、資源に関わる人や組織、課題等の関係整理)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
												H29 年度	継続		
												H30 年度	継続		
												H31 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分 (百万円)	5.0	H32 年度	継続			
担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	【再掲】ダム推進事業													
	目的 及び 概要	安威川流域住民の生命と財産を守り、安全なまちづくりの推進に必要な安威川ダムについて、大阪府等と連携を図り、事業の建設促進を図る。 【関連取組:4-1-6 安威川ダムによる治水対策】				H 28 年度	内容	①建設促進					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			
13	事業名	◎【再掲】新名神推進事業													
	目的 及び 概要	西日本高速道路㈱が整備する新名神高速道路及び大阪府が整備するアクセス道路についての早期の供用を促進するとともに、地域の活力の維持、創出をめざし、地域住民等と連携して新名神を活用したまちづくりを行う。 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】				H 28 年度	内容	①建設促進					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H29 年度	完了
													H30 年度	-	
													H31 年度	-	
													H32 年度	-	
	担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分	一般		事業区分	ハード			
14	事業名	◎ ダム周辺整備事業													
	目的 及び 概要	平成32年7月に完成する安威川ダムにおける、ダム完成後の周辺の魅力向上につながる整備を実施するための取り組みを進める。 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 28 年度	内容	①ダム周辺整備事業(官民連携事業化検討委託)					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	8.0	うち市負担分 (百万円)	2.4	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分	一般		事業区分	ハード			
15	事業名	◎ 緑道等整備事業													
	目的 及び 概要	安威川ダム水源地域整備計画に基づく地域整備事業の推進として、ダム整備に合わせた湖面周辺の緑道整備を検討し、レクリエーションや散策など市民に親しまれる事業を推進する。 【関連取組:4-1-6 安威川ダムによる治水対策】				H 28 年度	内容	①ダムサイト周辺遊歩道整備事業(実施設計)					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分 (百万円)	1.5	H29 年度	完了
													H30 年度	-	
													H31 年度	-	
													H32 年度	-	
	担当課	部名	建設部		課名	公園緑地課		会計区分	一般		事業区分	ハード			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	事業名【再掲】千提寺菱ヶ谷遺跡史跡整備事業													
目的 及び 概要	千提寺菱ヶ谷遺跡の歴史的資産としての価値を評価するために調査を行い、北部地域活性化の一つの拠点としても活用するため、史跡指定に向けて取り組む。 【関連取組:3-3-4 歴史遺産の保存・継承】				H 28 年度	内 容	①埋蔵文化財確認調査 323万円 ②科学分析 44万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	完了
													H31 年度	-
													H32 年度	-
担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ハード						

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

取 組		5-6-4	★ 北部地域の魅力向上							
E1	事業名	◎ 新名神周辺遊歩道等整備事業(平成27年度で完了)								
	目的 及び 概要	地域の生活基盤の減少を防ぐため、地域間交流の活性化を図ることから、まちづくり交付金制度を活用し、遊歩道・施設案内板等の整備を行う。								
	担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ハード	

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-7	環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくりをすすめ
施策の方向性	限られた資源を有効に活用し、地域内で循環する省エネルギー型の都市をめざすとともに、誰にもやさしい福祉のまちづくりや、既存のストックの活用や施設の長寿命化などを進めていきます。これにより、将来にわたって住み続けることができるまちをめざします。 今後も増加すると懸念される空き家については、所有者への働きかけを行うほか、まちづくりへの活用をめざします。	
★:重点プラン該当取組	1	環境負荷の低減
	2	★ 誰にも優しいまちづくりの推進
	3	危険家屋・老朽マンション対策
	4	都市計画施設の見直し
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-7-1	環境負荷の低減
1	事業名	低炭素都市づくり推進事業
	目的及び概要	スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりを促進するなど、環境にやさしいライフスタイルを実現し、低炭素都市づくりを進めていきます。 また、東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業実現化に向け協議を行っていきます。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】
	H28年度	①スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりの促進 ②東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業に関する協議
	方向性 (対前年度比)	継続
	事業費 (百万円)	0.0
	うち市負担分 (百万円)	0.0
	H29年度	継続
	H30年度	継続
	H31年度	継続
	H32年度	継続
担当課	部名	都市整備部
	課名	都市政策課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-7-2	★ 誰にも優しいまちづくりの推進
2	事業名	◎ バリアフリー化推進事業(ソフト)
	目的及び概要	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)に基づき、旅客施設や病院、福祉施設など高齢者や障害者等が利用する施設が集まった地区(重点整備地区)においてバリアフリー基本構想を作成し、バリアフリー化を重点的かつ一体的に推進する。
	H28年度	①バリアフリー基本構想に基づいた取組の進捗管理
	方向性 (対前年度比)	継続
	事業費 (百万円)	0.0
	うち市負担分 (百万円)	0.0
	H29年度	継続
	H30年度	継続
	H31年度	継続
	H32年度	継続
担当課	部名	建設部
	課名	道路交通課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト
3	事業名	福祉のまちづくり事業
	目的及び概要	高齢者や障害者が、安全で気軽にあらゆる社会に参画し、自らの意思で自由に行動できるよう、都市施設のうち大阪府福祉のまちづくり条例に基づく基準適合努力義務対象建築物について、事前協議を行う。
	H28年度	①事前協議書の受領・審査及び完了届出書の審査
	方向性 (対前年度比)	継続
	事業費 (百万円)	0.0
	うち市負担分 (百万円)	0.0
	H29年度	継続
	H30年度	継続
	H31年度	継続
	H32年度	継続
担当課	部名	都市整備部
	課名	審査指導課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名 ◎ バリアフリー化推進事業(ハード)												
目的 及び 概要	バリアフリー基本構想及び特定事業計画に基づき、重点整備地区の道路などのバリアフリー化に取り組む。	H 28 年度	内 容	①バリアフリー特定事業 ・設計委託 松下町西穂積線ほか、C=20百万円 ・工事 駅前一丁目学園南線ほか、C=15百万円							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
				方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	35.0	うち市負担分 (百万円)	15.8	H32 年度	継続		
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-7-3		危険家屋・老朽マンション対策										
5	事業名		空家対策事業											
	目的 及び 概要		少子高齢化や人口減少の進行により、今後空家の増加が懸念されるため、「(仮称)空家対策基本計画」を策定し、空家の有効活用や撤去を促進する。	H 28 年度	内 容	①(仮称)空家等対策計画の策定 ②庁内検討組織による利活用等の検討 ③空家等対策協議会の設置						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
6	事業名		建築物維持保全指導事業											
	目的 及び 概要		良好な居住環境を保全するため、適法に維持保全されていない建築物の所有者等に適法な状態を継続的に保つよう指導を行う。	H 28 年度	内 容	①建物維持保全指導 ②文書指導						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)
	担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
7	事業名		マンション建替円滑化等事務事業											
	目的 及び 概要		マンションの良好な居住環境の確保のため、マンションの適正管理や建替事業に伴う建替組合の設立などに対する支援を行う。	H 28 年度	内 容	①マンションの適正管理や建替事業が円滑に行われるよう支援を行う。						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H29 年度	継続	
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		5-7-4		都市計画施設の見直し											
8	事業名	【再掲】都市計画決定等事務事業													
	目的 及び 概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定・変更を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備 や市街地整備】 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・ 土地利用の誘導】				H 28 年 度	内 容	①都市計画決定等						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H29 年度	継続
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														方向性 (対前年度比)	継続
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-8	暮らしと産業を支える交通を充実させる
施策の方向性	国土軸に位置する優位性をさらにいかしていくとともに、平成25年度に策定した総合交通戦略に基づき、「住みやすい・移動しやすい」まちづくりのため、道路ネットワークの充実と強化、公共交通の利用促進や歩行者・自転車空間の安全性の向上等の総合的な交通施策を進めます。	
取組 ★：重点プラン 該当取組	1	★ 公共交通の維持・充実
	2	★ 道路整備の推進
	3	駐車場・駐輪場の充実
	4	歩行者、自転車利用環境の整備
	5	★ 交通安全対策の推進
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-8-1		★ 公共交通の維持・充実										
1	事業名	◎ 茨木市総合交通戦略事業												
	目的 及び 概要	本市にふさわしい交通のあり方の実現に向け、市民、交通事業者、関係機関など多様な主体との協働により、計画的に交通施策を推進する。				H 28 年 度	内 容	①計画の進行管理 ②計画に位置づけられている短・中期施策の実施				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		
2	事業名	公共交通対策事業(ハード)												
	目的 及び 概要	将来の交通体系づくりの基本理念、基本方針に基づき、9のテーマと短、中期及び長期で実施する20の交通施策に取組み、目標とする「まちの将来像」を実現する。				H 28 年 度	内 容	①JR貨物線高架橋耐震補強 全体事業費:218.9百万円 国1/3:72.9百万円、府:1/6:36.5百万円、市1/6:36.5百万円、JR貨物1/3:73.0百万円 ②市民の移動利便性向上に向けた施策の検討費用:8.1百万円 ③ICカード利用促進事業補助:0.5百万円 ④公共交通マップ、総合案内板設置事業:0百万円 ⑤多様なタクシーサービス等の展開				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	45.1	うち市負担分 (百万円)	45.1	H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ハード		
3	事業名	公共交通対策事業(ソフト)												
	目的 及び 概要	将来の交通体系づくりの基本理念、基本方針に基づき、9のテーマと短、中期及び長期で実施する20の交通施策に取組み、目標とする「まちの将来像」を実現する。				H 28 年 度	内 容	①地域バス路線維持費補助金				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.5	うち市負担分 (百万円)	1.5	H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		5-8-2 ★ 道路整備の推進											
4	事業名 ◎【再掲】ダム周辺整備事業												
目的 及び 概要	平成32年7月に完成する安威川ダムにおける、ダム完成後の周辺の魅力向上につながる整備を実施するための取り組みを進める。 【関連取組:5-6-4 北部地域の魅力向上】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 28 年 度	内 容	①ダム周辺整備事業(官民連携事業化検討委託)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H29 年 度	継続
												H30 年 度	継続
												H31 年 度	継続
												方向性 (対前年度比)	継続
担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分	一般		事業区分	ハード		
5	事業名 ◎ 新名神推進事業												
目的 及び 概要	西日本高速道路(株)並びに関連道路整備を担う大阪府と連携し、地元住民の協力を得ながら、早期の建設を促進する。完成6車線設計協議確認書及び暫定4車線施工協議の全地区締結を受け、早期の供用開始と周辺整備の取組を進める。 【関連取組:5-6-4 市北部地域の魅力向上】			H 28 年 度	内 容	①建設促進						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H29 年 度	-
												H30 年 度	-
												H31 年 度	-
												方向性 (対前年度比)	完了
担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		
6	事業名 茨木松ヶ本線整備事業												
目的 及び 概要	市街地中心部の交通混雑の緩和のため、平成29年度末の完了をめざし、府道大阪高槻京都線(松ヶ本町)から東中条町までの1,060mを道路新設、拡幅改良する。			H 28 年 度	内 容	①委託(家屋) C= 0.0百万円 ②使用料 C= 10.0百万円 ③用地 C= 0.0百万円 ④補償 C= 0.0百万円 ⑤工事 C=288.70百万円 ⑥負担金 C= 2.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H29 年 度	完了
												H30 年 度	-
												H31 年 度	-
												方向性 (対前年度比)	継続
担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ハード		
7	事業名 山麓線整備事業												
目的 及び 概要	市域山麓部の東西交通と彩都アクセスの円滑化を図るため、彩都や安威川ダムの事業進捗に合わせ、府道茨木亀岡線から彩都東部地区、中部地区、西部地区へと至る道路の整備を行う。 【関連取組:5-4-2 彩都の都市づくり】			H 28 年 度	内 容	①委託 C= 20.0百万円 ②工事 C=191.9百万円 ③用地 C= 18.4百万円 ④補償 C= 1.0百万円 ⑤負担金(UR・府) C= 0.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H29 年 度	継続
												H30 年 度	継続
												H31 年 度	継続
												方向性 (対前年度比)	継続
担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ハード		

8	事業名	橋梁新設改良事業											
	目的 及び 概要	橋梁耐震診断の結果を基に、補強・補修をすることにより、地震発生時における安全を確保するとともに、老朽化橋梁の架け替えや改良を実施する。	H 28 年度	内 容	①野々宮3号線(あけぼの橋) C=80.0百万円 ②橋梁耐震補強(工事) C=80.0百万円 ③橋梁耐震補強(設計委託) C=58.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	218.0	うち市負担分 (百万円)	98.1	H32 年度	継続	
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					

9	事業名	(仮称)JR総持寺駅周辺整備事業											
	目的 及び 概要	JR京都線摂津富田・茨木間に新駅が設置されることを受け、利用者の交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図るため、駅前周辺道路等の整備を行う。	H 28 年度	内 容	①庄中央線 C=219.9百万円 ②総持寺9号線ほか C= 71.6百万円 ③総持寺太田線 C=395.8百万円 ④公囀 C= 10.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	697.3	うち市負担分 (百万円)	464.4	H32 年度	完了	
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					

10	事業名	道路新設・改良事業(補助分)											
	目的 及び 概要	歩行者、自転車等の通行の安全や渋滞の解消等、円滑で快適な交通の流れを確保するため、国からの補助採択を受けて、用地買収、歩道整備や車道の拡幅及び交差点改良を行う。	H 28 年度	内 容	①市道宿久庄二丁目安威一丁目線 C=15.0百万円 ②市道天王一丁目沢良宜西二丁目線 C=49.6百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	64.6	うち市負担分 (百万円)	49.4	H32 年度	継続	
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					

11	事業名	駅前太中線整備事業(第4工区)											
	目的 及び 概要	市街地中心部における交通の円滑化や歩行者の安全確保等、交通環境の向上を図るため、市内を南北に結ぶ道路である駅前太中線のうち、府道大阪中央環状線から丑寅一丁目までの区間の整備を行う。	H 28 年度	内 容	①委託 ・詳細 C=5.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分 (百万円)	5.0	H32 年度	継続	
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名 新名神周辺道路等整備事業												
目的 及び 概要			新名神関連事業として、千提寺地区の自然環境、歴史、文化資源等の恵まれた地域資源を活かして、都市住民との交流を促進する空間を整備することにより地域の活性化を図る。また、新名神高速道路の供用開始に伴い通過交通が増加するため、市道の拡幅を行うことにより歩行者、車両等の安全を確保する。	H 28 年度	内 容	①市道泉原千提寺線道路改良事業						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	完了
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	58.4	うち市負担分 (百万円)	26.3	H32 年度	-
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					

13	事業名 橋梁維持事業												
目的 及び 概要			本市管理橋梁の定期的な点検及び計画的な維持修繕を継続的に実施することにより、橋梁を常に健全な状態に保ち、歩行者及び車輛の通行の安全を確保するとともに、予防保全による計画的修繕(長寿命化修繕)を実施することによりコストの縮減を図るため、計画的な維持修繕を実施する。	H 28 年度	内 容	①工事(五十鈴橋、新太田橋ほか3橋) ②負担金(定期点検) ③設計委託(無名橋ほか3橋)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	145.5	うち市負担分 (百万円)	53.5	H32 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					

14	事業名 道路新設・改良事業(単独分)												
目的 及び 概要			歩行者、自転車等の通行の安全や渋滞の解消等、円滑で快適な交通の流れを確保するため、市の単独事業として現道に沿って歩道及び車道の拡幅整備を行う。	H 28 年度	内 容	①大岩南北線 C=237.4百万円 ②市道高田町豊川四丁目線 C= 6.0百万円 ③市道千提寺2号線 C=20.0百万円 ④大住町地区内線 C=21.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	284.4	うち市負担分 (百万円)	47.0	H32 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-8-3		駐車場・駐輪場の充実										
15	事業名	市営駐車場補修計画事業												
目的 及び 概要	市民が市営駐車場を安全で快適に利用し続けるため、市営駐車場の現状調査を行い、補修計画を立てる。	H 28 年度	内 容	①西駅前町自転車駐車場を調査							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H29 年度	継続		
											H30 年度	継続		
											H31 年度	継続		
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	6.0	うち市負担分 (百万円)	6.0	H32 年度	継続			
担当課	部名	建設部		課名	建設管理課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	事業名	市営駐車場補修事業										
目的 及び 概要	市営駐車場を維持するため、長寿命化を図る。	H 28 年度	内 容	中央公園駐車場 非常用放送設備更新 自家発電設備制御盤更新							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H29 年度	継続
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	8.0	うち市負担分 (百万円)	8.0	H32 年度	継続	
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般	事業区分	ハード				

17	事業名	送迎用バスターミナル管理運営事業										
目的 及び 概要	JR茨木駅周辺の道路交通の円滑化のため、送迎用バスターミナル(上穂東町・松ヶ本町)の管理運営を行う。	H 28 年度	内 容	①用地賃借料 ②交通整理員の配置							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H29 年度	継続
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	30.8	うち市負担分 (百万円)	18.4	H32 年度	継続	
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-8-4		歩行者、自転車利用環境の整備											
18	事業名	自転車利用環境整備事業													
目的 及び 概要	安全で快適な自転車の利用環境を実現させることを目的に自転車利用環境整備計画に基づいて整備を行う。	H 28 年度	内 容	①自転車通行空間の整備 ・市道沢良宜西一丁目玉島台線ほか C=23.0百万円							事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
											H29 年度	継続			
											H30 年度	継続			
											H31 年度	継続			
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	23.0	うち市負担分 (百万円)	10.4	H32 年度	継続				
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード						

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-8-5		★ 交通安全対策の推進											
19	事業名	放置自転車等対策事業													
目的 及び 概要	駅前周辺の美観の保持と歩行者等の安全確保を図るため、市内各駅からおおむね300メートルの範囲を放置禁止区域とし放置されている自転車・ミニバイクを定期的に撤去、移動作業を行う。 放置自転車が多い箇所を対象に、路上駐輪場の整備検討を行う。コミュニティサイクルの拡充を行い自転車需要を抑制する。 料金体系を見直すことにより、自転車利用者の分散を図る。	H 28 年度	内 容	①駅前指導・移動・保管 ②保管事務所の警備 ③路上駐輪場整備検討、コミュニティサイクルの拡充							事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
											H29 年度	継続			
											H30 年度	継続			
											H31 年度	継続			
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	33.0	うち市負担分 (百万円)	23.8	H32 年度	継続				
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般		事業区分	ソフト						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

20	事業名	◎ 交通安全対策事業											
	目的 及び 概要	交通事故の撲滅や無秩序なめいわく駐車・違法駐車の排除を図るため、幼稚園・小中学校等での交通安全教室を実施するとともに、交通安全推進団体に対し交付金を付与する。			H 28 年度	内 容	①交通安全教室の実施 ②「交通事故をなくす運動」茨木市推進本部交付金					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	10.0	うち市負担分 (百万円)	10.0	H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分		ソフト		

21	事業名	◎ 歩道設置事業											
	目的 及び 概要	歩行者等の安全確保やバリアフリー化を推進するため、通学路になっている市道において歩道を整備するとともに、歩道の段差解消や改良を行う。			H 28 年度	内 容	①歩道設置工事 ・西河原北町西太田線 C=25百万 ・田中町西河原線測量設計委託料 C=7百万円 ・春日11号線 C=10百万円 ・西豊川町2号線 C=5百万円 ②歩道段差改良工事 C=12百万円 ③その他 ・横断歩道新設工事 C=12百万円 ・工事負担金ほか C=6百万円					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	56.2	うち市負担分 (百万円)	32.0	H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分		ハード		

22	事業名	◎ 交通安全施設整備事業											
	目的 及び 概要	道路の安全性向上を図るため、市道及び市管理道路において安全施設(カーブミラー、横断防止柵、ガードレール、車止め等)を整備する。			H 28 年度	内 容	①交通安全施設整備					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	55.0	うち市負担分 (百万円)	55.0	H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分		ハード		

23	事業名	交通安全施設維持管理事業											
	目的 及び 概要	市道及び市管理道路において設置されている道路の安全施設(カーブミラー、横断防止柵等)の維持管理を行うとともに、交通量を調査し、道路改良工事における資料として活用する。			H 28 年度	内 容	①交通安全施設修繕 ②交通量調査					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	19.0	うち市負担分 (百万円)	19.0	H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分		ハード		

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

取 組		5-8-3	駐車場・駐輪場の充実							
E1	事業名	別院町自転車駐車場整備事業(平成27年度で完了)								
	目的 及び 概要	別院町自転車駐車場(東棟)解体後の市有地に自転車駐車場を新築する。								
	担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般	事業区分	ハード	

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-9	市民・民間によるまちづくりを促進する
施策の方向性	まちづくりに関する知識の普及、情報の提供、まちづくり活動への支援を継続して進め、住民主体のまちづくりの促進に努めるだけでなく、民間事業者と協力して進める新しいまちづくりについても検討、推進し、本市の魅力と活力を発信していきます。	
取組 ★：重点プラン 該当取組	1	民間との連携、活力の活用
	2	市民による地域づくり
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組		5-9-1		民間との連携、活力の活用													
1	事業名	エリアマネジメント推進検討事業															
	目的 及び 概要	既成市街地や新たな開発において、住民・事業者・地権者等の地域の担い手が主体となった将来の維持管理や運営(マネジメント)等の地域を育てる取組を推進する。	H28年度	内容 ①関係部署・関係機関との協議 ②市民・民間との連携・協働								事業の方向性の見込み (対前年度比)					
							H29年度		継続								
							H30年度		継続								
							H31年度		継続								
		方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		0.0		うち市負担分 (百万円)		0.0		H32年度		継続	
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト				
2	事業名	【再掲】地域でのまちづくり推進事業															
	目的 及び 概要	市民がまちづくり活動等に参加するきっかけづくりや意識啓発のための事業を実施する。 【関連取組:5-9-2 市民による地域づくり】	H28年度	内容 ①いばらきまちづくりラボの開催 ②まちづくり塾の開催 ③えねトコ写真展の開催 ④生涯学習出前講座の実施								事業の方向性の見込み (対前年度比)					
							H29年度		継続								
							H30年度		継続								
							H31年度		継続								
		方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		(0.5)		うち市負担分 (百万円)		(0.5)		H32年度		継続	
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト				
3	事業名	【再掲】幹線道路沿道土地利用事業															
	目的 及び 概要	広域幹線道路沿道の市街化調整区域において、地権者等とともに地区の土地利用構想及び土地利用計画の検討を進め、幹線沿道にふさわしい土地利用を進める。 ※組合施行の土地区画整理事業に対する補助額については、現時点では未定。 【関連取組:5-2-2 幹線道路沿道での企業立地誘導】 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】	H28年度	内容 【玉島地区】 ①地区別事業化支援 ②農業振興地域整備計画(案)の作成(農林課) ③関係機関協議 【目垣地区】 ①土地区画整理準備組合設立支援 ②農業振興地域整備計画(案)の作成(農林課) ③関係機関協議								事業の方向性の見込み (対前年度比)					
							H29年度		継続								
							H30年度		継続								
							H31年度		継続								
		方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		(0)		うち市負担分 (百万円)		(0)		H32年度		継続	
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	【再掲】茨木市中心市街地活性化事業										
目的 及び 概要	本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置についても踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】	H 28 年度	内 容	①実施事業の精査、内閣府との協議・調整、基本計画案の作成						事業の方向性の見込み (対前年度比)		
				方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(5.6)	うち市負担分 (百万円)	(5.6)	H29 年度	完了
										H30 年度	-	
										H31 年度	-	
担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

5	事業名	【再掲】低炭素都市づくり推進事業										
目的 及び 概要	スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりを促進するなど、環境にやさしいライフスタイルを実現し、低炭素都市づくりを進めていきます。 また、東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業実現化に向け協議を行っていきます。 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】	H 28 年度	内 容	①スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりの促進 ②東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業に関する協議						事業の方向性の見込み (対前年度比)		
				方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H29 年度	継続
										H30 年度	継続	
										H31 年度	継続	
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

6	事業名	【再掲】北部魅力アップ事業										
目的 及び 概要	本市北部地域にある緑豊かな自然環境や歴史環境、現在事業推進している安威川ダム、新名神高速道路、彩都の大規模プロジェクトなどを活用し、北部地域の魅力向上を図るための検討と取組を進める。 【関連取組:5-6-4 北部地域の魅力向上】	H 28 年度	内 容	①北部地域のまちづくり検討調査(将来像の作成、課題整理、ロードマップ作成)						事業の方向性の見込み (対前年度比)		
				方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(5)	うち市負担分 (百万円)	(5)	H29 年度	継続
										H30 年度	継続	
										H31 年度	継続	
担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

7	事業名	【再掲】ダム周辺整備事業										
目的 及び 概要	平成32年7月に完成する安威川ダムにおける、ダム完成後の周辺の魅力向上につながる整備を実施するための取り組みを進める。 【関連取組:5-6-4 北部地域の魅力向上】 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】	H 28 年度	内 容	①ダム周辺整備事業(官民連携事業化検討委託)						事業の方向性の見込み (対前年度比)		
				方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(8)	うち市負担分 (百万円)	(2.4)	H29 年度	継続
										H30 年度	継続	
										H31 年度	継続	
担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分	ハード			

8	事業名		地域でのまちづくり推進事業										
目的 及び 概要		市民がまちづくり活動等に参加するきっかけづくりや意識啓発のための事業を実施する。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 28 年度	内 容	①いばらきまちづくりラボの開催 ②まちづくり塾の開催 ③えネトコ写真展の開催 ④生涯学習出前講座の実施							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
									方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.5	うち市負担分 (百万円)
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-9-2		市民による地域づくり													
9	事業名		中心市街地活性化支援補助事業														
	目的 及び 概要	中心市街地の活性化を図るため、市民等 によるまちづくり活動に対して補助を行う。			H 28 年 度	内 容	①にぎわい創出を目的とする提案公募型公益活 動支援事業(中心市街地の活性化事業)とまちづ くり構想の策定を目的とするまちづくり推進活動に対 し補助							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
														H29 年度	継続		
														H30 年度	継続		
														H31 年度	継続		
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.2	うち市負担分 (百万円)	0.2	H32 年度	継続				
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。